
空虚の空

驟雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空虚の空

【Nコード】

N5058BA

【作者名】

驟雨

【あらすじ】

幸せとは何か、空っぽなアナタはその答えをくれるだろうか

もし願いが叶うとしたら、僕は何を望むのだろう。
空虚の空に1つ呟いてみる。

空は澱み無き青。雲は純真無垢な白。
問いかけは波紋と成り空へ溶けた。返答は無し。

「不思議だよね」

嘲笑するような声。空っぽな言葉。
少年はふと考えた。そして思った。

幸せは積もるけど、虚しさは積もらない。
幸せは笑顔を呼ぶけど、虚しさは笑顔を呼ばない。
幸せは誰もが望むけど、虚しさは誰も望まない。

ならば、虚しさが存在する理由とは何だ。
虚しさなど、いったい誰が得する感情なのだ。

空虚の空は答えず、ただ下界を見下ろすだけ。
どれだけ高く跳ねたとしても、どれだけ強く望んだとしても空虚
の空には届かず、辿り着いたとしても空虚の空には何も無い。

広大な空。しかし、ただ広いだけの青。

いったい、その目を覆いたくなる程の空虚の先には何がある？

殊更の虚無か、更に深い青か。或いはその両方か。

「僕には分からないよ。たぶん、これから分からない」

空虚の空よ。

僕が望めばアナタは何かを降り注いでくれるだろうか。

優しき驟雨が、美しき時雨が、激しき豪雨が。

或いは、玲瓏な淡雪を降り注いでくれるのか。

「幸せは、降り注いでくれるのか？」

空虚の空よ。

今の僕は、アナタに似ている。

（後書き）

思春期をテーマに一筆。
さて、勉強せねば。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5058ba/>

空虚の空

2012年1月13日23時47分発行